

地域のボランティアさん大集合！

きっとあなたの近くにも ボランティアを必要としている人がいるはずです

人々のライフスタイルや価値観が多様化し、ボランティアのニーズも多様化しています。近年の高齢者の孤独死や児童虐待、育児放棄、引きこもり、ニート、DV（ドメスティック・バイオレンス）などの深刻な社会問題は、地域の中での孤立化や身近な相談相手の欠如も要因の一つとみられています。



そこで、地域の中で幅広い世代の人々が、お互いを理解し、つながりを強めていくことで、住みやすい地域をつくるために、家庭や学校、地域など様々な場面において、気軽に集まれる場や機会を提供し、交流やふれあい活動に取り組んでいるみなさんをいくつかご紹介します。

なんなんカフェ

（鶴山台南小学校げんきっこプラザ「なんなんクラブ」）

毎月第4土曜日（原則）に理科室で実施しています。子どもたちが、来てくださった地域の方々にサービスしてくれています。始めてから、約1年半経ちました。地域の方々にも少しずつ認知していただけるようになりました。



コーヒーサロン（和気校区）

毎月第4土曜日 9:30～ 憩いの家でコーヒーサロンを実施しています。立ち上げてから2年半。毎回60～70人。男性もたくさん参加されて、モーニングしながら憩いのひとときを楽しくされています。



「健康で長生き」を目標に！

いきいきずみ体操（東阪本町婦人会）

65歳以上の方を対象に、毎週水曜日の1時半から、誤嚥予防の為の替え歌を歌い、脳の刺激を手遊びなどで準備運動をしてから体操を始めます。

参加者の方は、週1回の体操はもちろんのこと、その後のおしゃべりの時間も、とても楽しみにされています。

会館の準備や司会進行は、グループを4つに分けて交代で行っています。

人任せでなく、自分たちの体操という意識を持っていただく事が、長く続けていく秘訣ではないかと思っています。





福祉農園スタート(2月)



じゃがいも収穫(6月)



夏祭り出店(8月)



サツマイモ収穫(10月)

今年春からスタートした福祉農園(光明台)

「モア21」は社会奉仕活動の一環として、障がい者家族が畑を耕す事で、農作物を作る喜びと心の安らぎを得ていただく福祉農園を立ち上げ、現在、障がい者家族10家族、サポート家族10家族、そして地域のボランティアや「モア21」メンバー17名と一緒に畑作業をしています。

2月に作付けした《じゃがいも》を6月に収穫し、みんなで味わい、8月の光明台夏祭りにプライドポテトを販売、そして秋のサツマイモ収穫等、順調に活動が進んでいます。



登下校見守り隊(東阪本町老人会)

小学生の子どもたちが、安全に元気よく登校していただくために、見守りをさせていただいております。朝の見守りは、こどもたちの為ではありますが、自分自身の健康のためであるという事を、最近は感じています。

地域に貢献でき、自分自身の健康維持のため、これからも無理をしないで続けていきたいと思っております。

今回ご紹介したのは、ほんの一部の取り組みです。

自治会や子ども会の他にも地域のおたすけ隊、見守り隊、自主防災、消防団、女性消防、青パト、いきいきサロン、子育てサロン、子ども食堂、サードプレイス等々。

一度ゆっくり、あなたの周りを見回してみてもいいでしょうか。きっと、あなたを必要としている人がいるはずですよ。

(情報収集・提供部会)



知っていますか? 和泉市の「〇〇サポーター」

せっかくボランティアをするのなら、ちょっとだけお勉強してから地域に貢献してみるのはいかがでしょうか。和泉市ではさまざまなサポーターを要請しています。

認知症サポーター、ヘルスアップサポーター、おたがいさまサポーター等々。(いずれも活動前に要研修)

おたがいさまサポーター

困った時はおたがいさま! 高齢者のちょっとした困りごとを助け合うサポート活動です。まずは「見守りを兼ねたごみ出し支援」から。

サポート活動に参加するとポイントが付き、貯まったポイントで市内の特産物と交換できます。



(問) 和泉市高齢介護室
0725-99-8132

いずみファミリー・サポート・センター

(通称:ファミサポ)は、子育てを手伝ってほしい人(依頼会員)と子育ての手助けができる人(提供会員)が、会員同士で子育ての援助を行うシステムです。

子育てが終わったので子育て中の人のお手伝いをしたい、保育士などの資格を活かして地域の子育て支援がしたい、子どもが好きで時間に余裕ができた...等々。

そんな方は、ぜひ、お申し込みください。



(問) こどもNPOセンターいずみっ子
0725-45-0659